# 防雨型赤外線付デイナイト対応
# SDカード録画機能付カメラ（DC12V）
# SD−605IR

# 取扱説明書

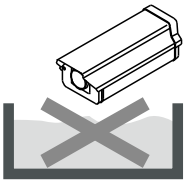
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、必要なときに読めるように大切に保管して下さい。

201304

# ■ ご注意

## ■使用上のご注意

1. 本機はDC12V専用モデルです。
2. ハウジング内のカメラ内部は絶対に分解、改造はしないで下さい。
3. 万一本機が故障した場合は、中を開けずにお買い上げ頂いた販売店へお送り下さい。
4. 本製品を、ベンジン、シンナー、ガソリン等で拭くと、変質、変色の原因となります。
5. 本機を使用できるのは、日本国内及び下記の外国のみです。



※ 防水型では
ありません

日本の規格で使用できる主な国
1.アメリカ　2.カナダ　3.韓国　4.台湾　5.フィリピン 6.チリ　7.コロンビア　8. ミャンマー　9.メキシコ　10.エクアドル　11.キューバ

※ 本製品は改善のため企画、外観等を予告なしに変更することがあります。

### ●安全上のご注意●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。

### ●表示マークについて●

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。 | | 禁止の行為を伝えるものです。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定されます。 | | 強制事項の内容を伝えるものです。 |

**⚠ 警　告**

| | |
|---|---|
| | 取付け場所などを移動するときは、必ず総ての電源を切った状態で線をはずしてから移動して下さい。 |
| | 本製品は精密機械ですから分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。 |
| | 電源コード類を傷つけたり加工したり引っ張らないで下さい。電源コード類が破損し、火災、感電の原因となります。 |
| | 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合はすぐに電源を切り電源プラグを持ちコンセントを抜いてください。 |

**⚠ 注　意**

| | |
|---|---|
| | 内部の点検、調整、修理は販売店にご相談下さい。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめ下さい。 |
| | 本製品は一般日常生活に使用する商品ですから、人命にかかわる場所や高い信頼性、安全性が要求される場所では使用しないで下さい。 |
| | 重いものをのせたりすると本製品が破損し、火災、感電の原因となります。 |
| | ぬれた手で触らないで下さい。感電の原因となります。 |

# ■ 目 次


■ ご注意 ....2
■ 目次 ....3
■ 特長 ....4
■ 仕様 ....4
■ 各部の名称と接続方法 ....5
OSD メニューの説明 ....7
メインメニュー ....7
1. カメラ設定 ....7
1-1 カメラ ID:オフ、オン ....8
1-2 アイリス:ALC、ELC ....8
1-3 モーション ....8
1-4 DNR(Digital Noise Reduction) ....9
1-5 シャッター ....9
1-6 感度アップ ....9
1-7 フリッカレス ....9
1-8 デジタル手ブレ補正 ....9
1-9 デイ／ナイト ....9
1-10 ホワイトバランス ....10
1-11 デジタルズーム ....11
1-12 詳細 (輪郭強調補正) ....11
1-13 垂直同期 ....11
1-14 AGC COLOR SUP ....11
1-15 反転 ....11
1-16 POSI/NEGA ....11
1-17 PIP(Picture In Picture) ....11
2. インテリジェンス設定 ....11
2-1 モーション ....12
2-2 マスクエリア ....12
2-3 ディスプレイ ....12
2-4 感度 ....12
2-5 RESOLUTION ....12
2-6 アラーム出力 ・・・ 注:この OSD メニューからは設定できません。 ....12
3. プライバシーゾーン設定 ....12
4. その他設定 ....13
5. 通信・・・本機では使用できません。 ....13
6. システム情報 ....13
7. 言語設定 ....13
8. リモートコントローラ、レコーダの説明 ....14
起 動 ....14
ライブモニタ ....15
設 定 ....15
録 画 ....15
日 時 ....17
SDカードオプション ....18
再 生(本体) ....18
簡易再生 ....19
検索再生 ....19
PC で再生の場合 ....19
アラーム出力(モーション検知信号出力) ....20
初期化 ....20
情 報 ....20
■ カメラ OSD メニュー 工場初期値、出荷時設定表 ....15
■ 外形図 ....21
■ 録画目安表 ....22
■ テクニカルサポート ....22
■ 保証書 ....22

## ■ 特長

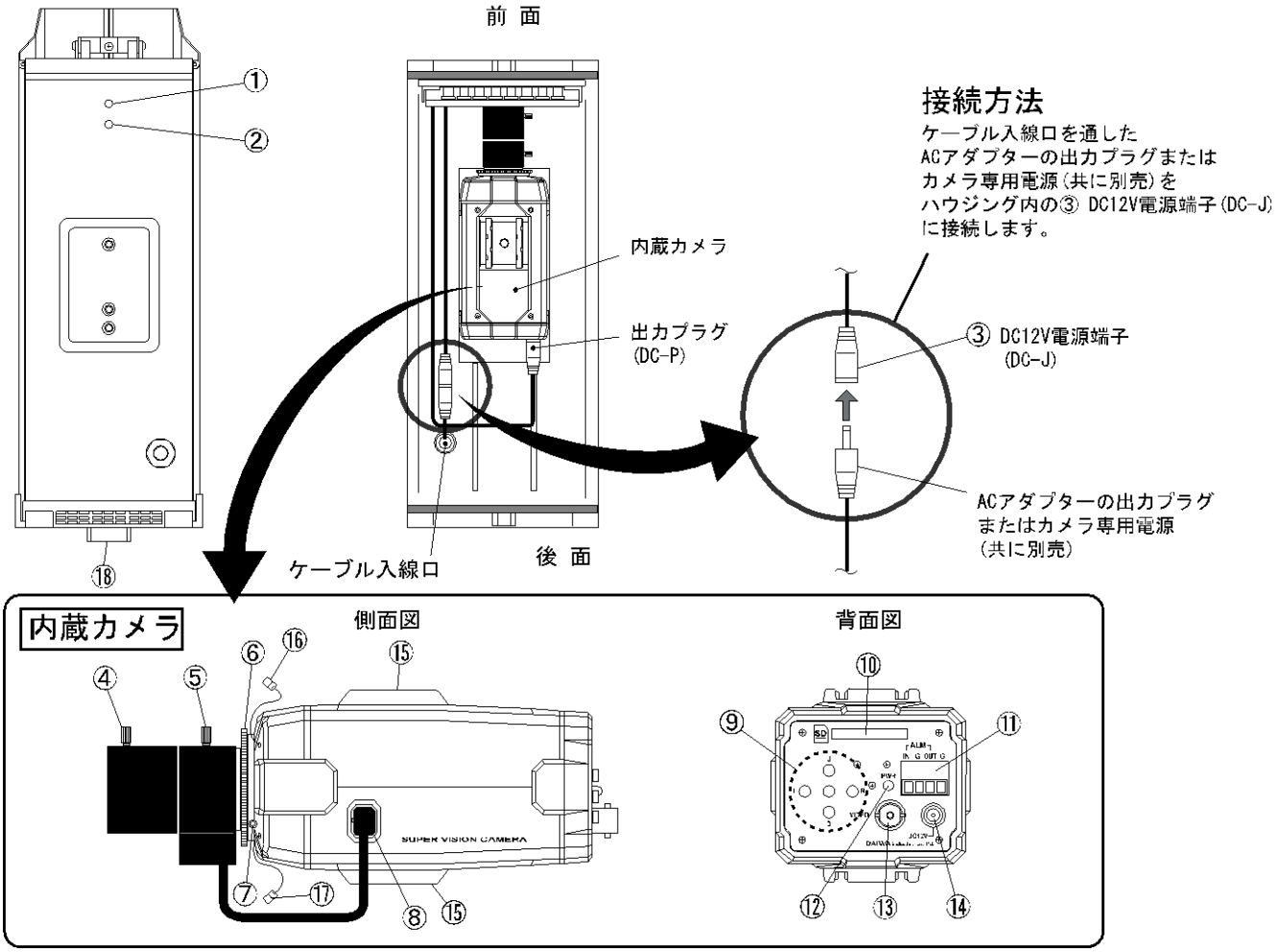
- SD カード録画機能（常時、イベント、スケジュール、手動、上書き）
- オンスクリーンディスプレイ（OSD）機能にプライバシーマスク 8 ゾーン設定可能
- 電源入力は AC アダプター又は専用電源より供給
- イベント設定時 0～10 秒のプリ録画設定が可能
- デイナイト機能付（IR カットフィルター方式）
- 補助モニタ出力端子（MONITOR OUT)付
- 水平解像度：600 本
- 最低被写体照度：0.012LUX
- 赤外線 LED 付
- OSD メニュー機能付
- 輪郭補正機能付
- フリッカレス機能付
- 逆光補正機能付
- 3D-DNR 機能付

## ■ 仕様

| 仕様 | | |
|---|---|---|
| SD-605IR | | |
| カメラ部 | 有効画素数 | 38万画素　768(H)×494(V) |
| | 映像信号方式 | NTSC方式 |
| | 映像出力 | 1.0Vp-p / 75Ω |
| | 走査方式 | 2:1インターレス方式 |
| | 解像度 | 水平600TV本 |
| | 最低被写体照度 | 0.012LUX　F1.2 (白黒時)、0.00004LUX　F1.2 (S.UP時) |
| | S/N比 | 52dB以上(AGC OFF) |
| | イメージセンサー | 1/3″ CCD |
| | 同期方式 | 内部同期 |
| | レンズ | TAV2712DC (2.7～12mm F1.2) |
| | フリッカーレス機能 | ON / OFF |
| | 逆光補正機能 | ON / OFF |
| | 感度UP機能 | ON / OFF (Max. x256) |
| | デイナイト機能 | ON / OFF (電子回路方式) |
| | DNR機能 | LOW/MIDDLE/HIGH/USER/OFF |
| | ホワイトバランス | ATW1 (2,500K～9,500K) / ATW2 (1,800K～10,500K) / |
| | | AWC / MANUAL (3,200K / 5,600K) |
| | ゲインコントロール | MIDDLE / HIGH / LOW |
| | デジタルズーム | ON (x1～x10)/ OFF |
| | 動体検知機能 | OFF/TRACKING/検出 (4ゾーン, アラーム出力) |
| | プライバシー機能 | 8ゾーン (多角形方法、4ポイント) |
| | カメラID | ON (Max. 54ea / 2Line) / OFF |
| | アドバンスド | OFF /(FIXED/MOVED) |
| | 反転 | OFF /水平/垂直/水平垂直 |
| | PIP | ON / OFF |
| | OSDメニュー | 上、下、左、右カーソルボタン、SETボタン |
| | OSDメニュー言語 | 英語/フランス語/スペイン語/日本語/ポルトガル語 |
| | バックライト | OFF / BLC |
| | 監視角度(H) | 97.4～23.8° |
| | レンズマウント | CSマウント |
| | マイク | 無 |
| 録画部 | I/O　センサー入力 | 無電圧接点（N.O,N.C切替可）TTL x 1 |
| | アラーム出力 | オープンコレクタ出力　x 1　（モーション検出） |
| | 録画メディア | SDカード　1GB～32GB |
| | 解像度/フレームレート | 720 x 480/30fps,　320 x 240/30fps |
| | モード | 常時、イベント、スケジュール、手動、上書き、停止 |
| | モーション検出 | 範囲及び感度設定可 |
| | 再生 | 再生、早送り、コマ送り、早戻し、コマ戻し、一時停止 |
| | スピード | x1/ x2/ x4/ x8/ x16/ x32 |
| | ステータスLED表示 | LED（赤色）：録画状態表示、点灯：録画中及び待機中 |
| | | 点滅：SDカード異常、未挿入及びフォーマット中、消灯：録画停止中 |
| | 電源 | DC12V |
| | 消費電流 | 260mA (最大値600mA) |
| | 動作温度 / 湿度 | -10℃～50℃ /　90% 以下 |
| | 外形寸法 / 重量 | 140(W)×115(H)×370(D)mm /1.6kg |
| | 入出力端子 | 映像：BNC-J 、電源：DC-J、アラーム：端子 |
| | 付属品 | リモコン、入線口、ネジ |

## ■ 各部名称と接続方法

底面図　　ハウジング内部（上面から）




① ステータス LED 表示（赤）　：録画モード時＝点灯、SD カードエラー時＝点滅、録画停止時＝消灯

② リモコン受光部　：リモコンを使用する場合は受光部に向けて操作して下さい。

③ DC12V 電源端子（DC-J）　：AC アダプターの出力プラグを接続します。

④ ズーム調整ノブ（レンズ）　：T:TELE にまわすと画角は狭くなり、W:WIDE にまわすと画角は広くなります。

⑤ フォーカス調整ノブ（レンズ）　：N:NEAR にまわすと至近側、∞:FAR にまわすと至遠側になります。

⑥ フランジバック調整ダイヤル　：工場出荷時にあらかじめフランジバック調整を行っていますので、必要以外調整は行わないで下さい。

⑦ フランジバック調整ダイヤルロックネジ　：フランジバック調整ダイヤルを調整する際ネジをゆるめてからダイヤルを回して下さい。ダイヤルを調整後はネジをしっかり締めて下さい。

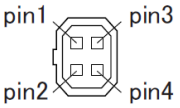
⑧ DCアイリスコネクター端子　：DCアイリスレンズのコネクタを接続します。

※Videoアイリスレンズは使用できません。

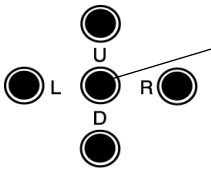
＜DC アイリスレンズ＞

pin1：DAMP(－)　pin3 :DRIVER(＋)

pin2：DAMP(＋)　pin4: DRIVER(－)




⑨ OSD メニュー設定ボタン　：OSD メニュー設定時使用します。




**中心ボタン ：SETUP**　：メニュー画面表示、及び決定。

**U：UP　▲**　：カーソルを上へ移動。

**D：DOWN　▼**　：カーソルを下へ移動。

**L：LEFT　◀**　：カーソルを左へ移動、又は数値を下げる。

**R：RIGHT　▶**　：カーソルを右へ移動、又は数値を上げる

⑩ SD カードスロット　：SD カードを挿入します。

**〔注〕 SD カードを出し入れする時は、①ステータス LED ランプ消灯を確認して下さい。**

**LED ランプ点灯、点滅時は SD カードを出し入れしないで下さい。**

⑪ アラーム OUT/IN 端子　：端子にセンサを接続するとセンサ反応時に録画が開始します。

⑫ POWER LED 表示(緑)　：電源を入れると点灯します。

⑬ 映像出力端子(BNC)　：DVR、モニタ等 VIDEO 入力端子に接続します。

⑭ 電源入力端子　：DC12V 電源を接続します。

⑮ 台座　：カメラ取付用ブラケットやハウジングなどに、カメラを取付ける為の台座です。(ケース一体型)

⑯ LED 表示用ワイヤ　：ハウジングの LED ワイヤに接続します。

⑰ リモコン受光部用ワイヤ　：ハウジングのリモコン受光部ワイヤに接続します。

⑱ハウジングカバー留め金具　：別途購入で南京鍵などを取り付ける事が可能です。

# OSD メニューの説明

メインメニュー

**OSD の出荷時設定は、P.21 カメラ OSD メニュー出荷時設定一覧の様になっております。設定値を変更する場合は下記の説明をお読み下さい。**

● メニューのアイコンの使い方

（終了）メニュー設定の終了。メニュー設定終了時、設定を保存する場合は「変更保存」、キャンセルする場合は「変更無効」を選択してください。

（戻る）前のメニューに戻ります。

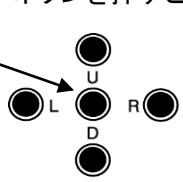
（メインメニュー）メインメニューに戻ります。

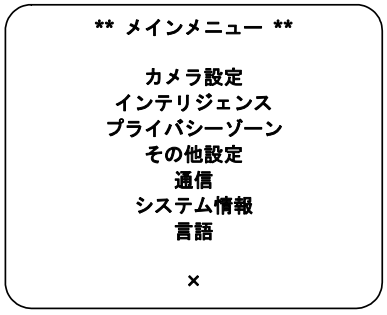
（保存）マスクエリア、プライバシーゾーンなどの設定を保存するために使用します。一旦設定を保存すればメニューで「変更無効」を選択しても保存されています。

（削除）マスクエリア、プライバシーゾーンなどの設定を削除するために使用します。一旦設定を削除すればメニューで「設定無効」を選択しても復元できません。

● メニューの種類と内容

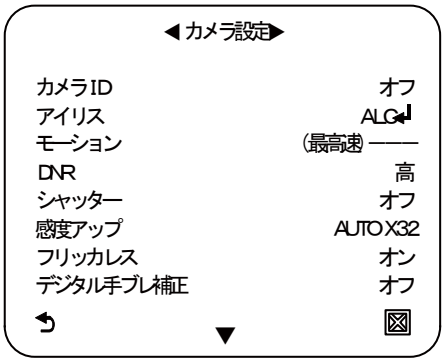
“SETUP”ボタンを押すとメインメニューが表示されます。

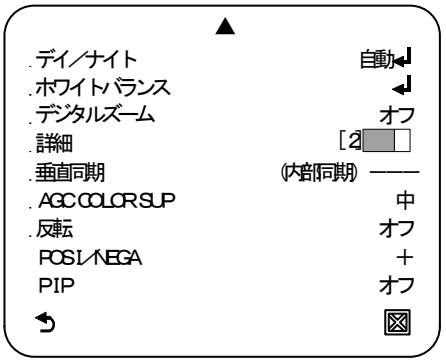



1. **カメラ設定** ： カメラ関連機能とデータの設定ができます。
2. **インテリジェンス** ： モーション検出などの設定ができます。
3. **プライバシーゾーン** ： プライバシーに関連する設定ができます。
4. **その他設定** ： 工場初期値などの設定ができます。
5. **通信** ： 調歩同期方式通信に関連する設定を行ないます。（本機では使用できません）
6. **システム情報** ： カメラバージョンや通信設定に含まれるシステム情報を表示します。
7. **言語** ： サポートされている言語から選択してください。

## 1. カメラ設定




カメラモジュールの全般的な機能の設定を行ないます。▲▼ ◀ ▶ ボタンを使用してメニュー項目を選択してください。

## 1-1 カメラ ID ： オフ、オン

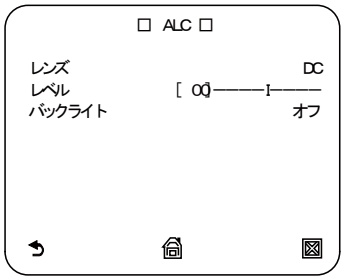
● カメラ ID メニューでカメラに固有の名前を割り当てることができます。カメラ ID メニューが選択されている状態で、◀ ▶ を押すことによりカメラ ID の**オン／オフ**が切り替えられます。さらにカメラ ID が**オン**の状態でカメラ ID のメニューを選択し **SETUP** を押すと、カメラ ID の入力画面になります。カメラ ID は最大 54 文字の英数字か特殊文字を入れることができます。位置を選択し、**SETUP** を押して、カメラ ID の表示位置を動かして下さい。

## 1-2 アイリス ： ALC、ELC

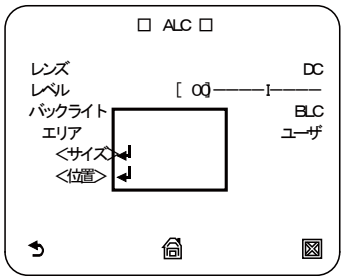
アイリスメニューはカメラに入る入射光量を調整します。

◆ ALC(Automatic Light Control：自動光量調整)

ALC のサブメニューを選択した状態で **SETUP** ボタンを押すと ALC のメニュー画面が表示されます。



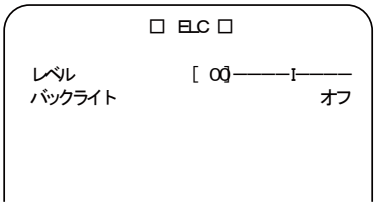

● レンズ⇒使用するレンズの種類（DC／VIDEO）を選択してください。
● レベル⇒全体的な輝度の調整をします。▶ で輝度が上がり◀ で輝度が下がります。

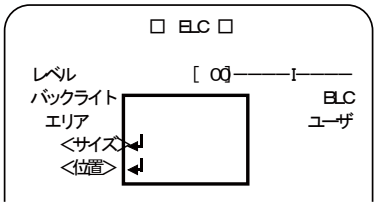



● バックライト⇒**BLC** を選択した場合、BLC エリアを設定する画面が表示されます。エリアの指定は、ユーザ、下部、上、左、右、中央が選択できます。エリアの指定でユーザを選択すると四角形のサイズと位置を設定することにより希望する BLC の範囲を設定することができます。
（強い逆光で普通のカメラを使用すると、逆光の影響によりモニタ上では被写体が暗く表示されます。この問題の解決のため、**BLC（Back Light Compensation：逆光補正）**機能を使用してそのような強いコントラストの場面を見やすく改善します。）

◆ ELC（Electronic Light Control：電子光量調整）

アイリスメニューで ELC を選択し **SETUP** ボタンを押すと、対応するスクリーンが現れます。
電子光量 ELC の機能を有効にすることができます。ALC 設定と同様に BLC の領域を指定できます。




## 1-3 モーション ： 最低速、低速、通常、高速、最高速

モーションのメニューは、カメラモーションを制御するためにAGCレベルの強度を調整します。感度アップの設定がAUTOの場合に利用可能です。

AGCレベル**最低速、低速、通常、高速、最高速** のうち一つ選択。 明暗差の少ない場面で速い動きの被写体をモニタする場合、同じ照明状態のほとんど動かない被写体にあった速度を選択してください。

〔注〕 **カメラ設定のデイ/ナイトのメニューが自動に設定されると、モーション メニューは設定できません。**

### 1-4 DNR(Digital Noise Reduction) ： オフ、低、中、高、ユーザ（1～16）

DNRの設定ができます。映像にあらわれたノイズをデジタル処理により3段階の設定（低、中、高）により低減します。さらにユーザ使用により**1～16**の設定ができます。

### 1-5 シャッター ： オフ、AUTO 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10K

シャッターメニューでは、固定高速電子シャッター、自動高速電子シャッター、および外部の高速電子シャッター（EXT）の速度を設定できます。

固定高速電子シャッターでは**1/100**から**1/10K**まで7つの設定から1つを選択できます。この設定は、速く動く被写体を撮影する場合に有効です。より明るくなったとき、固定高速電子シャッターモードに切り替わります。また自動高速シャッターは、オートアイリスレンズを搭載した場合に正しく動作します。

〔注〕 **1. アイリスモードがELCに設定されると、シャッターのメニューは変更できません。**
**2. 感度アップ機能がAUTOに設定された場合、シャッターのメニューではOFFとAUTOの項目だけが利用できます。**
**3. フリッカレス機能がオンに設定されると、シャッターメニューはオフ固定になります。**

### 1-6 感度アップ ： オフ、AUTO X2 ～ X256

画像の明るさとシャープさを保つため、蓄積時間を伸ばして暗くて低いコントラストの被写体を自動的に、検出します。

〔注〕 **1. シャッターの設定を固定電子シャッターモードにすると、感度アップの設定はオフ固定になります。**
**2. アイリスメニューがELCに設定されると、電子シャッターは明るさを制御します。OFFまたは、AUTOモードのみに設定できます。**
**3. シャッターメニューを AUTO に設定すると、感度アップメニューは OFF か AUTO モードのどちらかのみ設定できます。**

### 1-7 フリッカレス ： オフ、オン

フリッカレスを**ON**に設定すると、シャッター速度は**1/100秒**に固定されます。 これにより垂直同期周波数と照明の明滅の周波数の不整合による画面のちらつきを防ぐことが可能です。

〔注〕 **IRIS機能がELCに設定されると、フリッカレスのメニューはオフ固定になります。シャッターのメニューをAUTOに設定すると、フリッカレスのメニューはオフ固定になります。**

### 1-8 デジタル手ブレ補正 ： オフ、オン

デジタル手ブレ補正は、震動に対する補正を行ないます。カメラを電柱やポールに設置したとき有効な機能です

〔注〕 **1. 手ブレ補正をONに設定すると、補正領域はデジタルズームを設定したように少し拡大されます。**
**2. 手ブレ補正でズームしたよりもデジタルズームを大きく設定すると手ブレ補正は設定されません。**

### 1-9 デイ／ナイト ： デイ、ナイト、自動、外部

◆ **デイ ：** 周囲条件にかかわらずデイモードに固定されます。

◆ **ナイト:** 周囲条件にかかわらず白黒モードに固定されます。

ナイトサブメニューが選択されている状態で**SETUP**ボタンを押すと、バーストを**オン／オフ**できるメニューになります。バーストを**オン**に設定すると、バースト信号が白黒コンポジットビデオ信号とともに出力されます。バーストを**オフ**に設定すると、バースト信号は出力されません。

デイ／ナイトのメニューを**ナイト**に設定した場合、バースト信号を**オン／オフ**できます。

◆ **自動** ： 明るさの状態に応じて、カメラは自動的に**デイ**と**ナイト**モードを切り換えます。(初期値設定)

自動が選択されている状態で **SETUP** を押すと、設定画面が表示されます。
ナイトモードにおいてバースト信号の出力の**オン／オフ**ができます。

(1) **デイ→ナイト**の**BRIGHTNESS**は高、中、低から選択できます。それはカラーフィルタから白黒フィルタへ切り替える明るさのレベルです。

(2) **デイ→ナイト**の持続時間とは、フィルタを切り換えるのに必要な時間です。

(3) **ナイト→デイ**の**BRIGHTNESS**は高、中、低から選択できます。それは白黒フィルタからカラーフィルタへ切り替える明るさのレベルです。

(4) **ナイト→デイ**の持続時間とは、フィルタを切り換えるのに必要な時間です。

(5) マスクエリアのメニューは、夜に強いスポットライトがあることによって切り替えエラーまたは切り替え出来ない事態を防ぐために使用します。マスクエリアのメニューの項目1か2で**SETUP**ボタンを押すと、マスクをかける領域を指定できるメニューが現れます。(マスクエリアの指定はP.12 マスクエリア指定の仕方を参照)

(6) マスクエリア1と2は同時に指定でき、マスクエリアはどんなに過度の明るい領域もマスクすることができます。

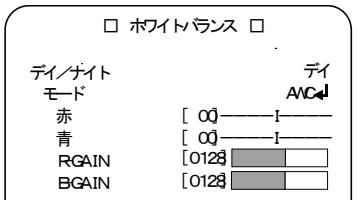
〔注〕 **バックライトがBLCに設定されていると、マスクエリア機能は設定できません。**

◆ **外部** ： **この機能は使用できません。選択しないでください。**

## 1-10 ホワイトバランス ： デイ、ナイト

カラー・スキームを調整するときは、ホワイトバランス機能を使用してください。

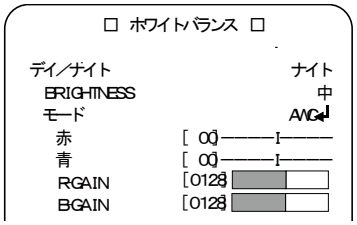
◆ **デイ** ： **デイモードで赤とブルーの明度を設定できます。** 設定に従った色が表示されます。




モードは ATW1、ATW2、AWC、3200K、5600K 選択が可能です。

※ **AWC** モードでのみ **R-GAIN** と **B-GAIN** の値を設定できます。

◆ **ナイト** ： **周辺輝度に従って異なるホワイトバランスを設定する場合は、ナイトモードを使用してください。**
ナイトのモードが**オフ**に設定されると、**ホワイトバランス**は、**デイ**モードに設定されていつも作動します。 **オフ**でなければ、明るさに応じて、カメラは**デイ/ナイト**モードに切り替わります。




モードはATW1、ATW2、AWC、3200K、5600Kの選択が可能です。

※ **AWC** モードでのみ **R-GAIN** と **B-GAIN** の値を設定できます。

ナイトモードにおいてのみ**BRIGHTNESS**の値を設定できます。

**BRIGHTNESS**： カラーから白黒モードに切り替わる輝度レベルを選択します。(低/中/高)

(1) **ATW1 (Auto Tracing White Balance mode 1) :**

カメラは周囲条件に応じてリアルタイムに自動的に色温を調整します。色温度は約2,500K～9,500Kまでカバーします。

(2) **ATW2 (Auto Tracing White Balance mode 2) :**

カメラは周囲条件に応じてリアルタイムに自動的に色温度色を温度は約1,800K～1万500Kまでカバーします。

(3) **AWC (Auto White Balance Control) :**

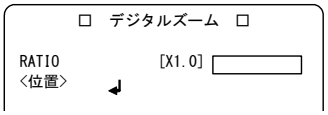
AWCを選択した状態で**SETUP**ボタンを押すと、その時点での最適なオートホワイトバランスに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。

**R-GAIN(赤色の濃さ) /B-GAIN(青色の濃さ) :** (**AWC**モードでのみ**R-GAIN**と**B-GAIN**値を設定できます。) 手動で色温度を設定できます(0～1023)

(4) **3200K** : 色温度を3200Kに設定します。

(5) **5600K** : 色温度を5600Kに設定します。

## 1-11 デジタルズーム : オン、オフ




デジタルズームの**RATIO**(比率)と位置を設定できます。デジタルズームの設定を**オン**にして**SETUP**を押すと、左のような画面が表示されます。**RATIO**(比率)と位置を設定すると、デジタルズーム機能が動作します。

◆ **位置** : 画像が**RATIO**の設定に拡大表示されている状態で、位置を選択して**SETUP**を押すと▲▼◀ ▶ボタンを使用して表示領域を移動することができます。

〔注〕 **デジタルズーム機能は画素を拡大しますので、表示品質の劣化を引き起こす場合があります。**

**1-12 詳細 (輪郭強調補正) : 0～3** 垂直または水平の鮮明度を制御します。(被写体の輪郭を強調補正)

**1-13 垂直同期 : 内部同期** (垂直同期は内部同期固定。)

**1-14 AGC COLOR SUP : 低、中、高** AGC値に応じて、カラー・スキームを調整します。

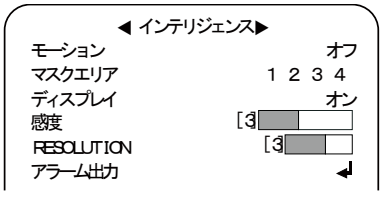
**1-15 反転 : オフ、水平、垂直、水平/垂直** 水平、垂直または両方のビデオ信号を(鏡像)反転します。

**1-16 POSI/NEGA : +、 −** ビデオの輝度信号をそのまま (+)、または反転 (−) して出力します。

**1-17 PIP(Picture In Picture) : オフ、オン** Picture In Picture機能を使用して同じ画面上でメインの画像とサブの画像を表示します。

**※ 1つ以上のプライバシーゾーンが設定されて、プライバシーSETがONに設定されていると、P IP機能は動作しません。**

# 2. インテリジェンス設定




インテリジェンスメニューで**モーション(動き)**検出と **TRACKING(追跡)**を設定できます。

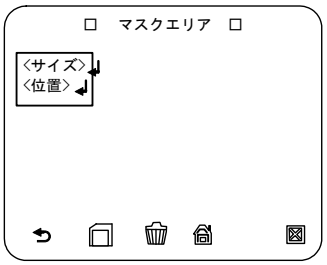
### 2-1 モーション : オフ、TRACKING、検出

◆ **TRACKING :** 画面上の動きがある被写体を検出し、追跡します。

◆ **検出** : 画面上の動きがある被写体を検出します。

**〔注〕屋外や明るさの激しい場所での使用は、モーション録画機能 が正常に働かない場合があります。**

### 2-2 マスクエリア : 1～4




画面上に常に動きのある被写体があるときや、その部分のみ検出したくない部分がある場合にマスクエリア(領域)を指定できます。マスク番号を選択しサイズと位置を指定して下さい。

〔指定の仕方〕

メニュー:マスクエリアを選択/LEFT又はRIGHTボタンでエリア番号選択/SETボタン押し/〈サイズ〉又は〈位置〉を選択/SET押しで各設定に移動します。

**〈サイズ〉** R:左右を広げる、L:左右を狭める、 U:上下に伸ばす、D :上下を短く

**〈位置〉** R:右に移動、L:左に移動、U:上に移動、D:下に移動

設定後、保存アイコンを押すと設定が保存されます。

### 2-3 ディスプレイ : オン、オフ

設定を**オン**にすると、**モーション**の機能で検出されたエリアを表示します。

### 2-4 感度 : 1～7 モーション(動き)

検出の感度を設定します。

### 2-5 RESOLUTION : 1～5

大きい値を設定すると、カメラは目標の小さな動きも検出します。

### 2-6 アラーム出力

**〔注〕 アラーム出力 ・・・ このOSDメニューからは設定できません。**

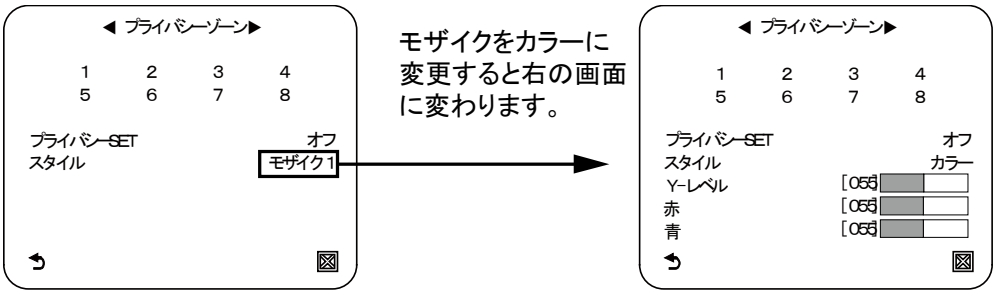
(レコーダの「動作検知設定」で行います。P.20「アラーム出力」を参照して下さい。)

## 3. プライバシーゾーン設定

**〔一つ以上のプライバシーゾーンが設定され、プライバシーSETがオンに設定されると、PIP 機能は使用できません。〕**

● プライバシー機能は、監視中指定されたプライバシーゾーンにマスクをかけることによりプライバシーを守ることができます。プライバシーゾーンは最大8つまで指定できます。

**プライバシーSET** を**オン**にすることにより、プライバシーゾーン設定は有効となります。




● プライバシーゾーンのモザイクのサイズと色を変更することができます。

▲▼◀▶ ボタンを使用して、プライバシー1から8のうち1つを選択し**SETUP**ボタンを押して設定を確認してください。

プライバシーゾーン設定においてピクセルレベルを変えることにより、ゾーンの点(頂点)および位置の指定の荒さを指定できます。

### 3-1 ポイントの設定方法 ： 四角形の各頂点4点を指定できます。

① <点>を選択してSETUPボタンを押すとプライバシーゾーンの4つの頂点のうちの一つが選択されます。
SETUPボタンを押すごとに頂点の位置が時計回りに移動します。

② ▲▼ ◀ ▶ボタンを使用して、各頂点の位置を設定してください。4つの頂点を設定すると<点>に選択が戻ります。

### 3-2 位置の設定方法 ： 指定した4角形の位置を動かすことができます。

② <位置>を選択してSETUPボタンを押すと、プライバシーゾーンの位置を動かせる状態になります。

② ▲▼◀ ▶ ボタンを使用して、プライバシーゾーンの位置を希望の位置に動かしてください。
保存アイコンを押すと設定が保存されます。
再度 SETUPボタン押しで、位置指定モードから抜け出せます。

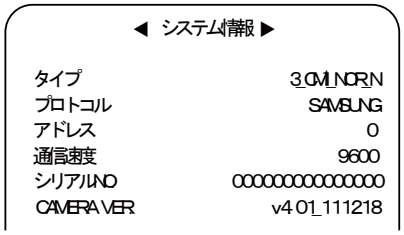
## 4. その他設定

● 工場初期値 ： すべての設定値が工場初期値に戻ります。
※ ただし、言語の設定は変わりません。

● カラー ： **白黒, R/G/B**
画面上の文字の色を**白黒／R(赤)／G(緑)／B(青)**に設定できます。

## 5. 通信・・・本機では使用できません。

## 6. システム情報




タイプ、シリアル No.およびカメラバージョンを含むシステム情報を表示します。

## 7. 言語設定

5 つの異なった言語を設定できます。 必要な言語を選択して下さい。

# 8. リモートコントローラ、レコーダの説明

本レコーダの設定はすべてリモートコントローラで行います。

図 1. リモートコントローラ

**表 1. リモートコントローラ機能一覧**

| | |
|---|---|
| 再生・一時停止 ▶/II | ライブ画面時：録画再生画面へ移動<br>録画再生時：再生、一時停止 |
| 戻る・停止 ESC | メニュー設定時：前画面へ戻る<br>手動録画時：録画停止<br>録画再生時：前画面へ戻る |
| 録画 ● | ライブ画面時：手動録画開始<br>録画検索時：10 ファイル送り |
| OSD 表示切替 OSD | ライブ画面時：OSD 表示、非表示切替<br>録画検索時：10 ファイル戻し |
| MENU ENTER | ライブ画面時：メニュー画面に移動<br>メニュー画面：サブメニュー画面へ進む |
| 音量+ ▲ | ライブ画面時：音量アップ<br>メニュー画面：上に移動<br>録画検索時：日付選択<br>録画再生時：音量アップ |
| 音量− ▼ | ライブ画面時：音量ダウン<br>メニュー画面：下に移動<br>録画検索時：日付選択<br>録画再生時：音量ダウン |
| 早送り ▶▶ | メニュー画面：設定変更<br>録画再生時：倍速再生（再生時）、コマ送り（一時停止時）<br>録画検索時：ファイル選択 |
| 早戻し ◀◀ | メニュー画面：設定変更<br>録画再生時：倍速逆再生（再生時）、1 秒戻し（一時停止時）<br>録画検索時：ファイル選択 |

## 起 動

(1) 電源 ON の 5 秒後にシステムが立上り、ステータス LED が点滅しますので SD カードを挿入して下さい。

〔注〕 **SD カードが書き込み禁止になっていないか確認して挿入して下さい。**

(2) SD カードが本レコーダに認識されるとステータス LED が点灯に変わり、初期状態では、自動で常時録画が開始されます。ステータス LED が点滅し続けている場合は、カードの挿入状態を確認して下さい。
カードの挿入が正常な場合は、SD カードを PC でフォーマット後、再度挿入して下さい。

(3) 電源が OFF され、再度電源が ON された場合は、自動で電源 OFF 前の録画モードで録画を開始します。

(4) 下記手順で、リモートコントローラのキーロック及び解除が行えます。
**ロック**：“ESC”、“ESC”、“OSD”　　**解除**：“OSD”、“OSD”、“ESC”

**〔注〕 録画中や初期化中に SD カードを抜かないで下さい。（録画停止状態で SD カードを抜いて下さい。）**
**メインメニューを表示させるか、電源を OFF にすると録画を停止できます。**

## ライブモニタ

現在の時刻

タスクバー

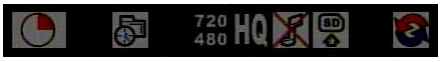



図 2. ライブ画面

(1) システムが立ち上がると自動でライブモードになります。

(2) **“OSD”**ボタンを押すと現在の時刻表示及びタスクバーの表示、非表示を切り替える事ができます。

(3) タスクバーの内容を下記に示します。

表 2.タスクバー機能一覧

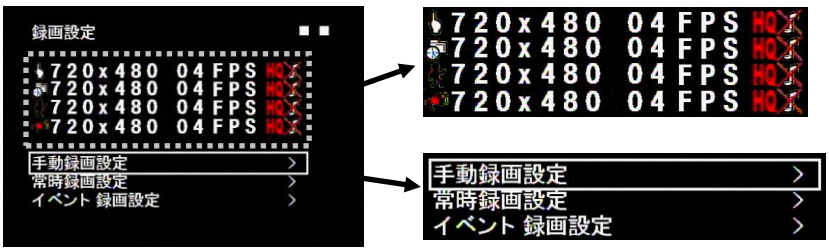
| | |
|---|---|
| 録画状態 | :録画中。　この表示が無い時は、録画が停止しています。 |
| 録画モード | :常時録画　:手動録画<br>:イベント録画(モーション)　:イベント録画(センサー)<br>設定よってマークが変わります。「録画」の項を参照して下さい。 |
| 録画解像度 | 720 480 :720x480 ピクセル時　360 240 :360x240 ピクセル時<br>設定よってマークが変わります。 |
| 録画画質 | HQ :最高画質　NQ:高画質　BQ:標準画質<br>設定よってマークが変わります。 |
| 録音 | :録音　:録音しない<br>設定よってマークが変わります。 |
| SD カード状態 | SD :SD カード正常　SD :SD カード異常または、未挿入 |
| 上書き録画 | :上書き録画中　94%:上書き録画停止中(SD カードの残量表示) |

## 設 定

ライブ画面で**“MENU ENTER”**ボタン押すとメインメニューが表示されます。 設定は値を変更した後、すぐに反映されます。設定画面からライブ画面に戻るには**“ESC”**ボタンを押します。初期録画設定から変更しない場合は、設定は不要です。

## 録 画

本レコーダには、4つの録画モード(常時、イベント、スケジュール、手動)が有ります。常時とイベント録画は、同時に使用する事により、録画品質を分けて録画時間を節約する事が可能です。図 3 の**“録画設定”**を選択し、**“MENU ENTER”**ボタン押すとサブメニューが表示されるので、それぞれの録画モードの設定を行います。




各モードの設定表示(記号の意味については、表 2 参照)

各モードの設定箇所
(選択して**“MENU ENTER”**ボタンを押します)

図 3.サブメニュー(録画設定)

設定項目の解像度、フレームレート、画質及び音声設定については、全録画モード共通です。

**解像度** :720x480, 360x240 から選択
**フレームレート** :1, 2, 4, 10, 15, 20, 30fps から選択
**画質** :最高、高、標準から選択(画質は最高>高>標準)
**音声** :ON(録音有効)、OFF(録音無効)から選択(録音を OFF にしてもライブ音声は出力されます)

〔注〕 **メインメニューや録画再生している期間は、録画が停止していますので、注意して下さい。**
**ステータス LED が消灯します。**

(1) 常時録画

図 4.サブメニュー(常時録画設定)

システムが起動した後、自動で録画を開始し、電源 OFF されるまで継続します。
スケジュール録画を行う時は、常時録画を OFF にします。

(2) イベント録画

モーション、センサ検知で録画を開始し、イベント前記録時間及びイベント後記録時間で設定した期間録画を行います。モーションとセンサ両方を検知して、録画する設定も可能です。スケジュール録画を行う時は、両方を OFF にします。

**イベント前記録時間** :イベントが発生する直前の記録時間です。
0～10 秒の範囲で設定可能です。
**イベント後記録時間** :イベントが発生した直後の記録時間です。
5～90 秒の範囲を
5 秒単位で設定可能です。

図 5.サブメニュー(イベント録画設定)

(a) モーション
モーション範囲や感度は、メインメニュー **“動作検知設定”**の**“エリア設定”** **“感度設定”**で行います。

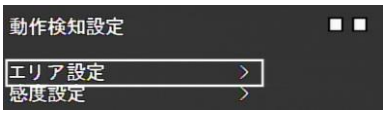
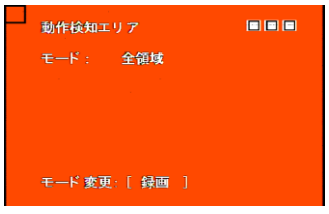
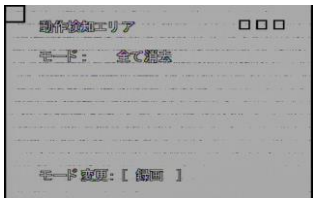



図 6.サブメニュー(動作検知設定)

① エリア設定




オレンジ色で表示されている箇所は、モーションを検知するエリアです。



灰色で表示されている箇所は、モーションを検知しないエリアです。

全領域選択時　　全領域未選択時

図 7.サブメニュー(動作検知エリア)

範囲を選択するモードには以下の種類が有り、**“録画”**ボタンで切り替え、**“MENU ENTER”**ボタンで決定します。

**全領域** : 全領域をモーション検知領域として設定します。
**セル編集** : セル単位で検知領域を設定します。

**ブロック消去**： 検知領域からブロック単位で検知領域を削除します。**“MENU ENTER”**ボタンを押すと検知領域が青く表示されるので、範囲を選択し、**“MENU ENTER”**ボタンを再度押して削除します。

**全て消去** ： 検知領域をすべて削除します。

**ブロック追加**： 未検知領域にブロック単位で検知領域を追加します。**“MENU ENTER”**

② 感度設定

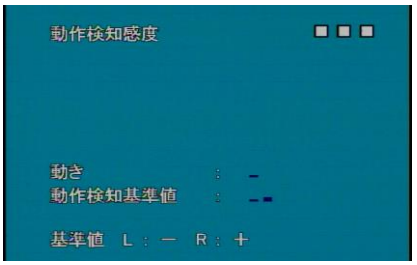



図 8.サブメニュー(動作検知設定)

モーションを検知する感度を設定することができます。
**動き**に現在の動きの大きさがリアルタイムに表示されます。
**動作検知基準値**は、モーションを検知するレベルを表しており、**動き**が**動作検知基準値**を超えた時、イベント録画（モーション）されます。動きは大きくなるほど目盛りが多く表示され、動作検知基準値が高くなる（動作検知感度が下がる）設定ほど目盛りが多く表示されます。

(b) センサ

センサは、メインメニューで**システム設定**の**アラーム入力**で N.O.又は N.C.を選択できます。

〔注〕 **本レコーダのアラーム入力には、電気信号を印加しないで下さい。**

図 9.サブメニュー(システム設定)

N.O.：接点が通常オープン、アラーム時クローズ（初期値）
N.C.：接点が通常クローズ、アラーム時オープン

〔注〕 **言語、コンポジットは変更しないで下さい。**

(3) スケジュール

図 10.サブメニュー(スケジュール録画設定)

指定した時間内で常時、イベント録画を行います。設定する時刻で録画モードを選択します。**ALL** は、すべての録画モードが有効になる設定です。

〔注〕 **常時、イベント録画を OFF に設定しないと設定項目が表示されません。**

(4) 手動録画

リモートコントローラの**“録画”**ボタンを押すと録画モードに関わらず、すぐに録画が開始され、**“ESC”**ボタンを押すか電源を OFF にするまで継続します。手動録画を終了するには、手動録画中に**“ESC”**ボタンを押します。

## 日 時

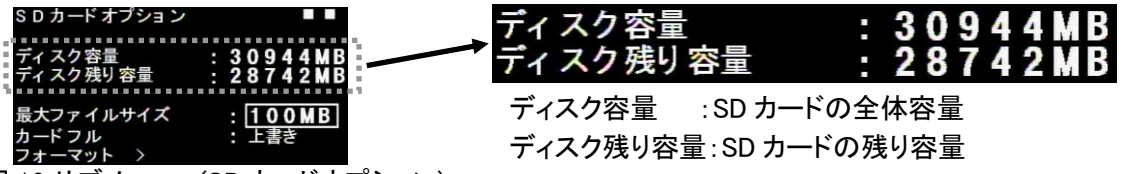
日時を調整する事ができます。メインメニューの**日時設定**を選択し、**“MENU ENTER”**ボタン押すと、図 11 のサブメニューが表示されるので、日時や表示形式の設定を行います。

図 11.サブメニュー(日時設定)

**日付の形式** ：Y(年)/M(月)/D(日)、D/M/Y、M/D/Y から選択可能。
**年** ：西暦で入力します。 月：月 、日：日を入力します。
**時間** ：時間を入力します。時間：分：秒。
**サマータイム**：OFF で使用します。※変更しないで下さい。

## ＳＤカードオプション

録画ファイルサイズの最大値、上書き設定及びフォーマットを行う事ができます。メインメニューの **SD カードオプション** を選択し、**“MENU ENTER”**ボタン押すとサブメニューが表示されるので、上記設定を行います。また、ディスク残り容量も確認する事ができます。




ディスク容量　:SD カードの全体容量
ディスク残り容量:SD カードの残り容量

図 12.サブメニュー(SD カードオプション)

(1) 最大ファイルサイズ

録画ファイルサイズの最大値を設定します。3, 10, 20, 50, 100MB から選択します。(初期値:100MB)
ファイルサイズを小さくすると録画ファイルの数が多くなります。

(2) カードフル

SD カードの残り容量が無くなった時の動作を設定します。上書き、停止から選択します。(初期値:上書き)

**〔注〕 停止を選択すると SD カードの残り容量が無くなった時点で録画を停止しますので、通常は上書きのままご使用下さい。**

(3) フォーマット

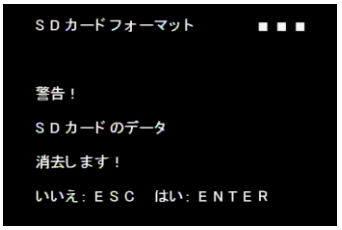



図 13.サブメニュー(SD カードフォーマット)

SD カードをフォーマットする事ができます。図 12 でフォーマットを選択し、**“MENU ENTER”**ボタンを押すとサブメニューが表示されるので、フォーマットする場合は、**“MENU ENTER”**ボタンを、キャンセルする場合は、**“ESC”**ボタンを押します。フォーマットが開始されると図 13 のサブメニューが表示されます(ステータス LED は点滅)。この画面が消えて図 12 に戻ると完了です。

**〔注〕 フォーマット中は SD カードを抜かないで下さい。SD カードが故障する恐れがあります。**

**フォーマット中**

サブメニュー(SD カードフォーマット)

## 再　生（本体）

録画データをレコーダ本体で再生する事が可能です。簡易再生と検索再生があります。

**〔注〕 再生中は、録画が停止します。**

図 14.再生画面

ここに再生の状態が表示されます。

: 再生(**“再生・一時停止”**ボタンを押します)
:早送り(x2/ x4/ x8/ x16/ x32)(**“早送り”**ボタンを押します)
:早戻し(x2/ x4/ x8/ x16/ x32)(**“早戻し”**ボタンを押します)
:コマ送り(一時停止中に**“早送り”**ボタンを押します)
:コマ戻し(1 秒戻し)(一時停止中に**“早戻し”**ボタンを押します)
:一時停止(再生中に**“再生・一時停止”**ボタンを押します)

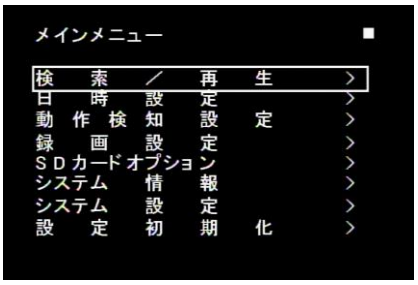
ボタンについては、**8.リモートコントローラ** の表 1 を参照して下さい。

## 簡易再生

ライブ画面で“**再生・一時停止**”ボタンを押すと最終録画ファイルが自動で再生されます。ファイルの再生が終わると一番古い録画ファイルから順次自動で再生されます。再生を終了するには、“**ESC**”ボタンを押します。

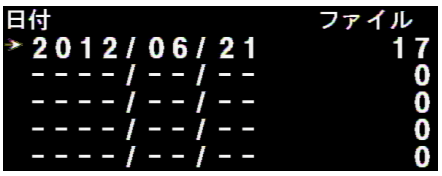
## 検索再生

検索再生は、ライブ画面で“**MENU　ENTER**”ボタンを押し、メインメニューを表示し**検索/再生**を選択します。表示された**検索/再生**サブメニューで録画ファイルの日付や時間を選択します。“**MENU　ENTER**”ボタンを押し再生します。再生を終了するには、“**ESC**”ボタンを押します。




ライブ画面で“**MENU　ENTER**”ボタンを押すとメインメニューが表示されます。検索/再生に合わせて“**MENU　ENTER**”ボタンを押します。

検索/再生サブメニューが表示されるので、再生を開始する録画ファイルを選択し、“**MENU　ENTER**”ボタンを押して再生を開始します。




日付毎に格納させている録画ファイル数が表示されます。

▲▼ ボタンで再生したい日付を選択します。

5 日以上は次のページになります。現在のページ/合計ページ数です。

〔注〕 **ファイル数ではありません。**

図 15.検索再生画面

選択している日付のファイルが表示されます。1 ファイルずつ移動する時は、▶▶◀◀ボタンを 10 ファイルずつ移動 する時は、● OSD ボタンを押します。

検索/再生画面の記号は、下記を示します。

: 常時録画データ、
: 手動録画データ、
: モーション録画データ、
: センサ録画データ、

: イベント前録画データ

## PC で再生の場合

メインメニューを表示して録画停止した状態（LED 消灯）または電源を OFF した後 SD カードをレコーダ本体から抜き、SD カードリーダ付きの Windows PC の Windows　Media Player で録画ファイルを再生する事ができます。

(1) 準備　SD カードを本レコーダから抜く為に録画を停止します。
ライブ画面で“**MENU　ENTER**”ボタンを押し、メインメニュー画面を表示すると録画が停止します。

メインメニューが表示されている時、録画停止状態です。

図 16.録画停止

(2) カメラ前面のステータス LED が消灯している事を確認して本レコーダから SD カードを抜きます。
(3) SD カードを PC の SD カードリーダに挿入し DVH264 フォルダを開きます。

(4) 録画フォルダ内のファイルをクリックすると再生されます。録画ファイル名には下記規則が有ります。

西暦，月，日 － 時間，分，秒，録画された時の録画モード

録画モードは、**MA**：手動、MO：イベント（モーション）、 **AL**：イベント（センサ）、

**PA**：イベント前録画、 **CO**：常時

（例：20120621-201125CO 常時録画モードで録画された 2012 年、6 月 21 日、20 時 11 分 25 秒のデータ）

## アラーム出力（モーション検知信号出力）

設定している録画モードに関らず、画面に動きがあった時(モーション検知時)アラームを出力します。
検出範囲及び感度は、「動作検知設定」で設定します。P.14 (2)イベント録画 (a)モーションを参照して下さい。

オープンコレクタ出力で、**モーション検知時**：L **モーション未検知時**：Hi-Z となります。
アラーム出力端子に DC30V より大きい電圧を印加しないで下さい。また、アラーム出力端子に 50mA より大きい電流が流れないように接続して下さい。

## 初期化

本レコーダを初期設定に戻す事ができます。ただし、日時設定は初期化されません。
図 17 のメインメニューで **設定初期化** を選択し、設定初期化のサブメニューを表示した状態で、**“MENU ENTER”**ボタンを押すと設定が初期化されメインメニュー画面に戻ります。キャンセルする場合は**“ESC”**ボタンを押します。

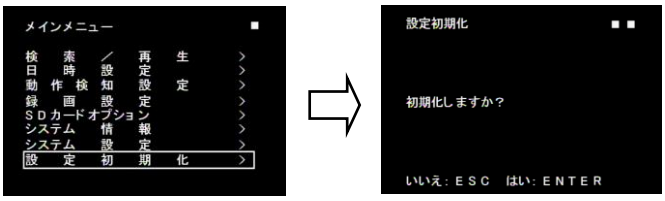



図 17. 設定初期化

## 情 報

本レコーダのシステム情報を確認する事ができます。

〔注〕 **この項目では、設定は行えません。**

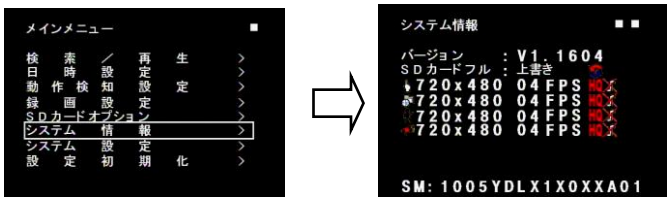


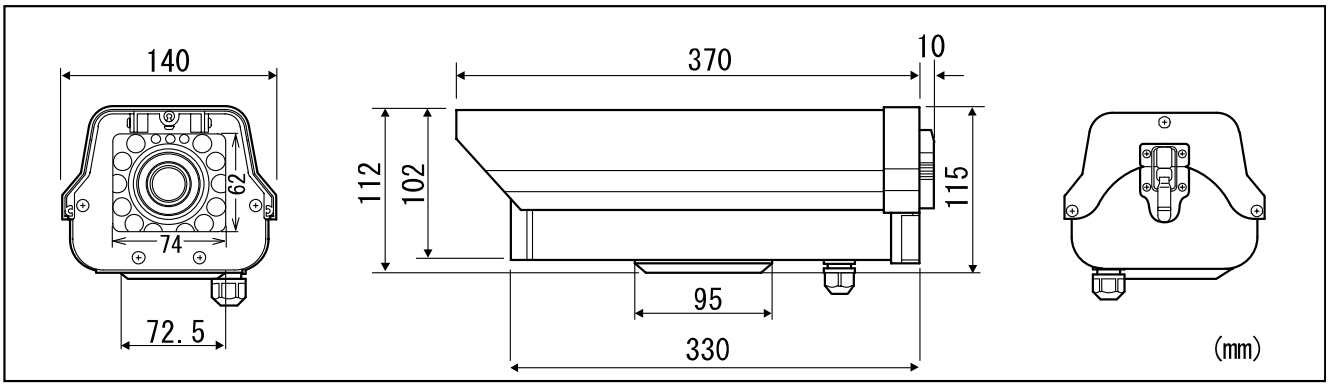

図 18. システム情報

**バージョン** ：ソフトウェアのバージョンを示しています。
**SD カードフル**：SD カードの上書き状態を示します。
**録画設定一覧**： ：手動録画の設定一覧行 ：常時録画の設定一覧行
：イベント（モーション）録画の設定一覧行 ：イベント（アラーム）録画の設定一覧行
**解像度**：740x480 、320x240 **フレームレート**：1, 2, 4, 10, 15, 20, 30fps
**画質**：HQ = 最高画質、 NQ = 高画質、 BQ = 標準画質 をそれぞれ示します。
**録音**： = 録音する、 = 録音しない をそれぞれ示します。

## ■ カメラ OSD メニュー　工場初期値、出荷時設定表

| 番号 | 機　　能 | 工場初期値 | 出荷時設定 |
|---|---|---|---|
| ● メインメニュー =>カメラ設定 | | | |
| 1 | カメラID | オフ | オフ |
| 2 | アイリス | ALC | ALC |
| 3 | ALC=>レンズ ・ レベル | DC ・ 00 | DC ・ 00 |
| 4 | ALC=>バックライト | オフ | オフ |
| 5 | モーション | 最高速 | 最高速 |
| 6 | DNR | 中 | 高 |
| 7 | シャッター | オフ | オフ |
| 8 | 感度アップ | AUTO x4 | AUTO x32 |
| 9 | フリッカレス | オフ | オン |
| 10 | デジタル手ブレ補正 | オフ | オフ |
| 11 | デイ／ナイト | 自動 | 自動 |
| 12 | 〃　=>自動=>BRIGHTNESS | 中 ・ 中 | 中 ・ 高 |
| 13 | ホワイトバランス=>デイのモード | ATW2 | ATW2 |
| 14 | 〃　=>ナイトのモード | オフ | オフ |
| 15 | 〃　=>デイ/ナイト=>AWC=>R-GAIN | R-GAIN:128 | R-GAIN:128 |
| | 〃　=>デイ/ナイト=>AWC=>B-GAIN | B-GAIN:128 | B-GAIN:128 |
| 16 | デジタルズーム ・ 詳細 | オフ ・ [2] | オフ ・ [2] |
| 17 | 垂直同期 ・ AGC COLOR SUP | （内部同期） ・ 中 | （内部同期） ・ 中 |
| 18 | 反転 | オフ | オフ |
| 19 | POSI/NEGA ・ PIP | ＋ ・ オフ | ＋ ・ オフ |
| ● メインメニュー=>インテリジェンス | | | |
| 1 | モーション ・ ディスプレイ | オフ ・ オン | オフ ・ オン |
| 2 | マスクエリア | 1:左上、2:右上、<br>3:左下、4:右下 | 1:左上、2:右上、<br>3:左下、4:右下 |
| 3 | 感度 | [4] | [4] |
| 4 | RESOLUTION | [3] | [3] |
| 5 | アラーム出力=>モーション | オン | オフ |
| ● メインメニュー=>プライバシーゾーン | | | |
| 1 | プライバシーSET | オン | オフ |
| 2 | スタイル | モザイク1 | モザイク1 |
| ● メインメニュー=>その他設定 | | | |
| 3 | カラー | 白黒 | 白黒 |
| ● メインメニュー=>言語 | | | |
| 4 | 言語 | 日文 | 日文 |

## ■ 外形図



## ■ 録画時間目安表

| SDカード　32GB | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 解像度 | 画質 | フレームレート（fps） | | | | | | |
| | | 30 | 20 | 15 | 10 | 4 | 2 | 1 |
| 720x480 | 最高 | 約24時間 | 約43時間 | 約72時間 | 約98時間 | 約170時間 | 約175時間 | 約180時間 |
| | 高 | 約36時間 | 約65時間 | 約108時間 | 約147時間 | 約255時間 | 約263時間 | 約270時間 |
| | 標準 | 約54時間 | 約97時間 | 約162時間 | 約221時間 | 約383時間 | 約394時間 | 約405時間 |
| 360x240 | 最高 | 約43時間 | 約77時間 | 約130時間 | 約176時間 | 約306時間 | 約315時間 | 約324時間 |
| | 高 | 約56時間 | 約101時間 | 約168時間 | 約229時間 | 約398時間 | 約410時間 | 約421時間 |
| | 標準 | 約73時間 | 約131時間 | 約219時間 | 約298時間 | 約517時間 | 約532時間 | 約548時間 |

## ■ テクニカルサポート

● お問合せ先

株式会社ダイワインダストリ

TEL/03-3755-5645 FAX/03-3755-2253

E-mail info@daiwa-industry.co.jp

● 受付時間

平日(月～金) 9:00～12:00/13:00～17:00

土、日、祝日は除く


株式会社 ダイワ インダストリ

セキュリティ事業部

〒146-0082 東京都大田区池上 3-36-6　TEL/03-3755-5645　FAX/03-3755-2253

URL http://www.daiwa-industry.co.jp


## ■ 保証書

きりとり

| 購入日 | 年　月　日 |
|---|---|
| モデル | SD-605IR |
| お客様 | ご住所<br>お名前<br>電話 |
| 販売店 | 店名・住所 |

### 保　証　書

1：保証期間はお買い上げ月日より１年です。

2：修理はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお出し下さい。尚、本保証書の提示がない場合及び下記の場合の修理は有料となります。

- 使用方法の誤り、または乱用による故障。
- 不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
- 天災（落雷、火災）による故障及び損傷。

3：本製品は盗難防止器具、火災防止器具ではありません。本製品の正常・異常にかかわらず犯罪や事故が発生した場合の損害については当社は一切責任を負いません。

4：本器の故障のために生じた２次的な事故は、保証いたし兼ねます。

5：本製品の設置（取り付け・取りはずし）などにより生じた建物等への損傷やその他の損害について当社は、一切責任を負いません。


株式会社 ダイワ インダストリ

■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6
〒146-0082 TEL:03-3755-5645(代)　FAX :03-3755-2253